

ふじばやし通信

小さな声こそ たいせつに 2026年2月号



ふじばやし詠子後援会

〒830-0027 久留米市長門石4-8-30
携帯 090-4779-4862
メール eikofjb@icloud.com
FAX 0942-35-4511
ホームページ 藤林詠子 検索



不登校の子どもに健康と体験の保障を

12月議会



藤林の質問は、録画映像で
ご覧いただけます。

健康診断193人が受診

不登校の子どもが、学校の健康診断を受けられないことは問題だと思い、ふじばやしは、教育委員会に働きかけてきました。今年度、取り組みが始まりましたので、その成果と課題を質問しました。

市は医師会と協議を重ね、今年度から、健診日に欠席した児童生徒が学校医の医療機関で健康診断を受けられるようにしたと答弁しました。(まだ、一部学校は、未実施。一部の学校は、以前から取り組んでいた)その結果、不登校の児童生徒193人が受診につながったとのこと。学校での集団健診を受けられない子どもにとって、大きな前進です。

一方で、同じ学校の児童生徒と顔を合わせることに不安

一方で、同じ学校の児童生徒と顔を合わせることに不安などから、医療機関での受診にも至らないケースがあることも明らかになりました。医師会の協力によって実現した取り組みです。子どもが安心して利用できるよう、さらに工夫をと要望しました。

平和学習や

CAPPプログラムを

学校は、教科学習以外に平和学習やCAPPプログラム、社会科見学、芸術鑑賞、職場体験などさまざまな体験学習を提供しています。

市内の不登校児童生徒が千人を超える現状では、これらを学校以外で提供することや情報提供を工夫して行うことが必要で

は？と提案しました。

教育委員会は、今年度から校外教育支援教室「らるご」の体験活動を通級生以外にも参加可能にしたこと、ICTを活用した体験参加も可能になることなどを含め、今後、改善していくと答弁しました。

*CAPPプログラム

子どもへの暴力防止プログラム。市内のすべての小学4年生に実施している。

図書館、美術館を居場所に

図書館や美術館などの社会教育施設を学びや居場所として積極的に活用することを提案しました。平日昼間に小学生が図書館等にいることについて、職員や他の利用者の温かい理解も必要です。

教育委員会は、「不登校児童生徒が選択できる学びや活動の幅が広がることにつながるもので進めたい」と答弁しました。

最後にふじばやしは「不登校の小中学生を一人の市民と捉え、市が提供する事業が支援につながることを、関係部局にも教育委員会と同様に理解していただくことを期待します。」と述べました。



不登校に関する質問の最後の言葉に、じーんときました

『今日、学校は?』という一言で、居場所にならないこともあります。不登校の子どもへの理解を社会全体で共有することが大切だと感じました。



空き家が7600戸もあるのに 部屋を借りられない人が!?

ふじばやしが所属する建設常任委員会は、「空き家対策と住宅セーフティネット」を継続的に議論しています。

市職員の説明だけでは分からない実態もあるので、委託先の「久留米市居住支援協議会・一般社団法人く

るめ住まいサポート」の山本さん、永田さん、氏家さんに来ていただきました。

この団体は、さまざまな理由で転居が必要な方、緊急で住居を確保しなければならない方の相談に乗っています。

賃貸物件相談	149件
入居後の見守り・支援	232件
死亡に伴う連絡調整支援	23件 (令和6年度)

孤立や孤独が増える中で、住まいの問題は深刻な市の課題だと思いました。

住まい探しに 困る人のことを 議会で話せてよかった

氏家 剛



議会に呼ばれ、居住支援や協議会の現状、今後の展望を話しました。僕自身、日々、住居に困る人の対応をしながら、多くの課題を感じています。この日の議会では、藤林議員から行政側への質問やなげかけをたくさんいただきましたので、協議会の再構築に向けた流れができました。行政の意識が上がったと感じ、ありがたいです。

今後さらに居住にまつわる問題解決、共同見守りの提案と実践に向けて官民一体で頑張りたいと思います。

2025年10月28日 建設常任委員会 YouTube →



市営住宅、4月から民間業者が管理



市営住宅は、生活の場です。文化施設や体育館などの利用施設と異なるため、指定管理にはこれまでと違う課題があります。指定管理者制度になることで、個人情報管理や福祉的事業の評価、福祉部局との連携、モニタリングや競争性の確保、入居率向上策の妥当性など、丁寧なチェックが必要です。

12月議会の議案審査でふじばやしは、これらの課題を指摘したうえで、賛成しました。

入居者に柔軟な対応が期待できる面もあり、今後も検証していきます。

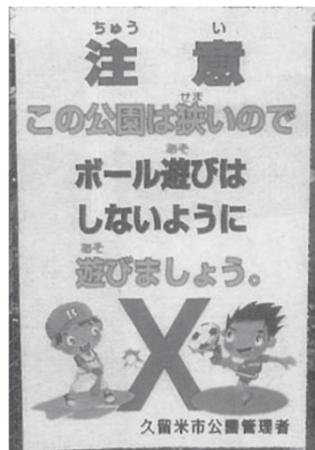
市営住宅の
ふじばやしの
発言はこちら →



「ボール遊びができない公園なんて、公園じゃない!」

と子どもが言っているとあるお母さんから聞き、調べたところ、ボール遊びを禁止する明確な条例などはありませんでした。市内で禁止看板がある公園は4か所のみ。住民が入れ替わっても、その後の意向確認がされないまま看板が残っていることもわかりました。住民同士の話し合いが必要ではないかと提案し、市が地域と相談した結果、2か所は撤去、1か所は近隣の広い公園へ誘導、1か所は協議中となりました。

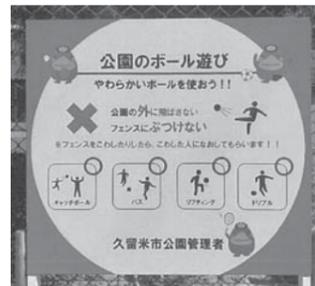
9月の決算委員会でふじばやしの質問に対し、市は、「今後は苦情だけで判断せず、住民との対話で公園の使い方を決めていく」と答弁しました。子どもの声も大切な市民の声として受け止めたいと思いました。



ビフォー



アフター



12月議会



中央部にも 保健センターを

久留米市には5か所の保健センターがありますが、市の中央部にはありません。市は課題と認識しつつ、当面は乳幼児健診や健康相談、各種教室は既存施設を活用すると答弁しました。今後の人口動態や健康施策を踏まえ検討を続けるとしています。

ふじばやしは、市民の健康を支える重要な拠点、後回しにできない重要なインフラとして、中央部への設置を求めています。

傍聴
しました



中央保健センターをつくらないで長年ほったらかしにしていることは問題だと思います。

誰もが投票 できる環境を

高齢者から「投票したいが投票所まで行けない」「字が書けなくなった」との声が寄せられています。市は、点字投票や代理投票、コミュニケーションボード、投票支援カード、スロープ設置などの合理的配慮を行い、周知していると答弁しました。が、より分かりやすい広報が必要だと指摘しました。ふじばやしは、記号式投票や移動投票所、投票所までの移動支援を提案しました。市は、コミュニティバス活用を検討すると答弁しました。



佐賀市の移動投票所(バス)

傍聴
しました



目が不自由な母の投票で、秘密投票が守られなかった経験があります。それ以来、投票所に連れて行くことをやめました。

12月議会では、他に「犯罪被害者等支援の充実を」「災害時のトイレ対策にトイレトレーラーを」と質問しました。

ふじばやし あっちこっち



9月

27日 成年後見安心サポートネット久留米主催のシンポジウム。

29日 ◆「第九のきせき」を鑑賞。聞こえない人も一緒に歌える表現に感動した。

◆福岡県盲人福祉大会に来賓出席

3日 じじっか5周年

10月



5日 長門石小学校運動会

4日〜5日 久留米フォーラムに参加。「虎に翼」の脚本家、吉田恵里香さんのお話は期待以上によかった。

19日 ●久留米オリピック ●久留米市手をつなぐ育成会の50周年記念式典。講演は、大阪府豊中市のインクルーシブ教育について。

デフリンピック銀メダルの竹下選手と。久留米市ろうあ協会創立50周年記念大会で。



20日 九州更生保護女性大会に参加

11月

2日 長門石校区まつり

4日〜5日 建設常任委員会視察。「こみ減量(八王子市)空き家対策(栃木市)」

15日 こどもの虐待防止学会礼儀



18日 講演「DV・性暴力がもたらすトラウマの影響」(えーるピア久留米)

23日 ◆ふるさと市民賞の表彰式に来賓出席。こどもの虐待防止活動に取り組みにしているCAPが団体として、表彰された。◆長門石コミュニティセンターで芸能祭・文化祭。◆くるめ環境表彰式に来賓出席

◆表彰された小宮春平さん(20代)のご挨拶が良かった。

「高良川で外来種の魚を見つけて仲間と丁寧に駆除した。希少生物を守る活動をしてる」若い方のこういう活動が広がるといいですね。

24日 オレンジリボンフェスタ

25日 久留米市立図書館協議会に出席

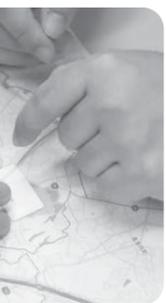
30日 ◆オモロイ授業発表会に参加 ◆友人の娘さんが、対馬のジビエをキャナルシティの無印良品で販売。獣医師になって、対馬の地域おこし協力隊で獣害対策などの活動をし、その後定住してがんばれ。



12月

1日 暴力団壊滅久留米市民総決起大会に来賓出席

7日 「ミヤンマーの今を語る」久留米とつながり(KOV)30周年記念講演会に参加



7日 さわるハザードマップづくり(久留米市視力障害者協会)



9日 越冬突入集会(ホームレス支援)



13日 チャリフェスに参加(八角堂広場) こどもの自転車乗り教室が大人気。

